

こうちょう おも 校長の念い

ず せいさくしゃ
図 制作者
ぶんげい しやどうぶ
文芸・書道部
ねんぶんげいぶん
3年文芸部員

よしゅう じゅぎょう う
予習をして授業を受けよう！

2学期が始まり、3週間が過ぎました。7月19日からの福井県感染拡大警報が、まだ継続されていますが、3年生の修学旅行や1年生の福祉体験、体育祭、文化祭を無事終えることができました。体育祭の挨拶で伝えましたが、今年度の私の念いは、「好奇心をもって挑戦し、自分を成長させよう！」です。失敗を恐れず、挑戦できましたか。努力したことや工夫したことを伝えあい、ほめあうことで、皆さん全員が、「体育祭や文化祭を行うことができてよかった。」と言いきれたと信じています。

ところで、本校では5年前から、誰もが通いたくなる学校を作りたいとした、「魅力ある学校づくり」に取り組んでいます。その成果を調べるため、毎年1学期末に「授業がよくわかる」という質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」のいずれかを選択してもらったところ、「当てはまる」に回答した生徒は、次の表のようになりました。

	ちゅう R2 中 1	ちゅう R3 中 2	ちゅう R4 中 3	ちゅう R3 中 1	ちゅう R4 中 2	ちゅう R4 中 1
本校	53.3%	36.3%	35.7%	42.6%	42.9%	38.4%

特に、2、3年生は、昨年と回答した生徒の割合がほとんど変わっていません。少しでも授業がよくわかる割合が高まってほしいので、第8回目の「念い」は、「予習をして授業を受けよう！」です。

復習は、習ったことを振り返るので、できないとは言えないと思うでしょう。でも、予習は、授業を受ける準備として行うものなので、わからないことがあってもいいのです。大体どんなことを習うのか、どこがよくわからないのかをはっきりさせておくことが大切なのです。そのために、理解しようとして教科書を読み、わからないところに付箋を貼ってみましょう。できれば、わからないことを「なぜ、〇〇なのかわからない。」という問いにして、ノートに書いておいてください。

そして、重要なところや自分の疑問点をチェックしながら授業に参加してください。その結果、予習でわからなかったことが授業でわかるようになり、自分の言葉で説明できるようになると、深く理解したといえると思います。また、復習は、予習でも授業を受けてもわからなかったことを重点的に行えばよいので、時間を短縮することができます。

わからなかった授業が、少し予習をするだけで、ずっとわかりやすくなったという経験をぜひ味わってみてください。